

令和4年度九州新幹線鉄道に係る騒音・振動調査結果について

令和5年7月28日（金）
鹿児島県環境林務部環境保全課
課長 坂本 洋 （2621）

1 調査目的

新幹線鉄道騒音に係る環境基準及び振動の指針値の達成状況を把握し、沿線住民の生活環境の保全を図る。

2 調査地点

(1) 騒音

11地点 [鹿児島市（2地点）、薩摩川内市（4地点）、
日置市（4地点）、いちき串木野市（1地点）]

(2) 振動

1地点 [鹿児島市]

3 調査結果

調査地点ごとの騒音・振動調査結果は別紙のとおり。

(1) 騒音

11地点のうち、4地点で環境基準を達成し、達成率は36%であった。

新幹線鉄道騒音に係る環境基準達成状況

類型	調査地点数	環境基準達成地点数	達成率（%）
I	10	3	30
II	1	1	100
合計	11	4	36

注）I：住居地域，II：I以外の地域

(2) 振動

1地点で測定した結果、指針値以下であった。

4 今後の対応

今後とも、新幹線鉄道騒音・振動調査を行い、環境基準等の達成状況を把握するとともに、環境基準を超過した地域においては、鉄道・運輸機構及びJR九州に対し、引き続き騒音対策を講じるよう要請する。

〔参 考〕これまで取られてきた騒音・振動対策

地上設備面では、トンネル緩衝工、防音壁のかさ上げ、Y型防音壁や吸音板の設置、レールの定期的な削正などを行っている。

車両面では、騒音等の環境により配慮した新しい車両の導入及び定期的な車輪削正等を行っている。

